



特集 いつもそばで、ずっと応援

## 静かなる真剣勝負

大江囲碁愛好会（会長：大沼清人さん・沢口）主催の「第1回大江町長杯囲碁大会」が、10月28日にふれあい会館で開催されました。「町長杯」の名を冠した大会として十数年ぶりに開かれたこの大会には、町内外から40人近くの愛好家の皆さんが参加。対局中は盤の上に碁石を置く音が絶え間なく響き、静寂の中にも「白黒をつけよう」という参加者の熱気があふれていました。



平成30年

11

No.693

# いつもそばで、 ずっと応援

〜母子保健・子育て支援サービス〜



若原区にお住まいの菊地真由子さん。生後2カ月になる風花ちゃんの、日ごとの成長を肌で感じながら過ごされています。「大変なこともありますけど、赤ちゃんの笑顔を見たら全部吹き飛びます」と話していました。

妊娠・出産、子育て。お母さんにとっては子どもの誕生と成長を実感する喜びにあふれる時期であるとともに、多くの苦労や悩みを抱えがちな時期でもあります。そこで、妊娠期から出産、乳幼児期、そして就学まで、子育て期にあるお母さんへ切れ目のないサポートをおこなうために、新しい体制として「子育て世代包括支援センター」が生まれました。

親子ともに健やかで幸せな日々を過ごせるよう、これまで以上にスムーズに、さまざまなアドバイスや支援をおこなう新たな仕組みについてご紹介します。

## 親子の歩みに寄り添う

子どもの誕生——長い人生を歩んでいくうえで最大の級の出来事であるとともに、家族はもちろん、地域にとっても町にとっても、新たな命が生まれてくることはこの上なく喜ばしいことです。一方で、妊娠・出産は大きな負担を伴うものであり、生活のリズムや環境の劇的な変化、将来的な不安などがお母さんの大きな悩みの種となる場合も多くあります。初産ともなれば、なおさらのことでしょう。

片時も目を離せない乳幼児期の子育ても、お母さんにとっては苦労が絶えないものです。かつては多くの子どもたちが家族や地域の支え合いの中で育まれていましたが、社会構造の大きな変化の中で、世帯や地域の状況もまた千差万別になっているのが現実。家族だけで子育てに伴う困難を乗り越えるのが難しいケースも増えてきています。

こうした現状に対応し、地域や家庭の実情に応じた支援を充実させるために、平成28年の母子保健法の改正を受けて、本町では今年度から「子育て世代包括支援センター」を健康福祉課に設置しました。

## Voice



### 鈴木春佳さん・彰人くん (美郷)

上の子がまだ小さいころは大変でしたが、今はやっと落ち着いてきて「ぱれっと」など子育て支援の施設に行く機会も増えてきました。子どもにはいろんな経験をさせたいので、一緒に工作をしたりする企画があるのはありがたいですね。



### 大沼美智子さん・優翔くん (蛍水)

いろんなものに興味を持つ年頃なので、いつも目が離せなくて大変なところはありますね。みんなでお茶を飲みながら話す機会があると気軽に来られますし、他のお母さんたちの声も聞くことができとても参考になります。

## 切れ目ない支援のため

子育て世代を対象とした支援としては、時期によって主に妊娠・出産前後に関わる「母子保健事業」と、小学校入学までの「子育て支援事業」とに大きく分かれています。

この2つの分野において、これまでも妊婦や乳幼児を持つ保護者を支援する仕組みがそれぞれ設けられていましたが、利用者の個別の状況に

は十分に対応できない場合もありました。また、多様な支援制度がある反面、いろいろな関係機関が支援に関わることから、部署同士の情報共有や連携のあり方も課題となっていました。

子育て世代包括支援センターの大きな目的は、こうした従来の仕組みを見直し、妊娠期から子育て期にかけて切れ目のない継続的なサポートを提供することにあります。妊娠中の方や出産後の方、乳幼児などの状況を的確に把握するとともに、関係する機関同士の調整役となることで、各部署の円滑な連携を図り、妊娠期・子育て期の総合的な支援をおこなうというものです。

## 百人百様の状況を把握

赤ちゃんの誕生から成長が進むごとに、お母さんがやらなくてはならないことも次第に変わっていきます。その時々々の必要に応じた支援をおこなうためには、母子のおかれた状況を継続的に見守っていくことが重要になります。子育て世代包括支援センターの重要な役割の一つが、この実情の把握です。

妊娠していることが医療機関で分

かった場合、町の窓口で手続きをすることで「母子健康手帳」の交付を受けられます。この交付手続きの際に面談をおこなって、これからお母さんとなる方の状況を直接お伺いし、今後利用できる母子保健サービスについて紹介します。この妊娠時の情報が、その後もそれぞれの事情に合わせたサービスを利用していくうえで役立ちます。

センターではその後も定期的な面談のほか、各種健診や訪問サービス、関係機関との情報交換などを通じて継続的に母子の状況を把握していきます。これによって、お子さんの成長や環境の変化に関わらず、適切なサポートを提供することが可能になります。

## 的確なサービスを提供

子育て世代包括支援センターが担うもう一つの重要な役割は、妊娠・出産・育児に関するワンストップの相談窓口として機能することです。内容によって別の部署に相談しなければならぬ……といったことをなくし、子育てのことで何かあれば迷わず相談できる窓口になることを目指します。

親子ともに健康で安心して過ごしていただくために、妊娠期から子育て期までさまざまな健康診査やサービスがあります。町の母子保健コーディネーターが、それぞれの時期や状況にぴったりのサービスを受けられるようにサポートしていきます。

## 子育て期

各種予防接種

一部助成

医療機関に予約して接種します。

ブックスタート

絵本のプレゼントと読み聞かせをします。

育児相談

すくすくこども相談

ベビーマッサージ教室

子育て支援センター「ぱれっと」



親子のふれあいと交流の場として一般開放しているほか、保育士による育児相談やいろいろな楽しい催し、子育てサークル「ちびっこランド」の活動もあります。

乳幼児健診

- ◎3・4カ月児健診
- ◎9・10カ月児健診
- ◎お誕生教室  
(1歳児歯科健診)
- ◎1歳6カ月児健診
- ◎2歳6カ月児歯科健診
- ◎3歳児健診



ファミリー・サポート・センター

一時保育  
(あゆみこども園)

子育て短期支援事業

- ◎ショートステイ…宿泊を伴わない短期間の預かり
- ◎トワイライトステイ…宿泊を伴わない夜間の預かり

### 母子ともに健康を保つ

妊娠中や出産前後のお母さんにとって気掛かりなことの一つは、自分自身とお腹の中の赤ちゃんの健康状態ではないでしょうか。妊娠して

は、保健、医療、栄養、心理面など、実にいろいろな分野が関係します。子育て世代包括支援センターでは、相談者の状況や要望に合わせて今後どのようなサービスが必要になるのかといったことについて、関係機関と連携をしながら適切なアドバイスをします。

出産や育児に関しては、町や各種相談機関、医療機関などが多種多様なサービスをおこなっています。その中でいづれを利用すればいいのかについては、利用者の視点で利用計画を立てるのが望ましいとされています。センターではこの計画作成への助言や支援もおこないます。

さらに、より手厚い支援や継続的な援助が必要だと考えられる場合は「支援プラン」を策定し、綿密なスケジュールのもとでサポートを受けながら子育てができるようにすることもできます。

妊娠から子育てまでのサポートには、保健、医療、栄養、心理面など、実にいろいろな分野が関係します。子育て世代包括支援センターでは、相談者の状況や要望に合わせて今後どのようなサービスが必要になるのかといったことについて、関係機関と連携をしながら適切なアドバイスをします。

出産や育児に関しては、町や各種相談機関、医療機関などが多種多様なサービスをおこなっています。その中でいづれを利用すればいいのかについては、利用者の視点で利用計画を立てるのが望ましいとされています。センターではこの計画作成への助言や支援もおこないます。

さらに、より手厚い支援や継続的な援助が必要だと考えられる場合は「支援プラン」を策定し、綿密なスケジュールのもとでサポートを受けながら子育てができるようにすることもできます。

いる間は、日常の何気ない行動であつても身体的、心理的に大きな負担がかかります。お母さんの健康状態が生まれてくる赤ちゃんの健康に大きな影響を及ぼすのはよく知られていることです。何よりお母さん自身が病気にかかってしまつては大変です。妊娠期間中を安心して過ごすためにも、各種健診などを受診することが大切です。

# 誕生と成長に 寄り添う支援

# 大江町子育て世代包括支援センター概要

## 妊娠したら(産前)

## 出産したら(産後)



医療機関受診

妊娠届出

母子健康手帳交付



### 妊婦健康診査

一部助成

妊婦健康診査受診票と、各種検査の受診票を交付しており、県内の医療機関で使用できます。妊娠中を健やかに安心して過ごすためにも、定期的に受診しましょう。

### 新生児聴覚検査

全額助成

出産した医療機関で、入院中におこなう新生児聴覚検査の受検票を交付しています。

### パパ・ママスクール

赤ちゃんのお世話の仕方や、赤ちゃんを迎えるの生活などについてお話しします。お父さんの妊婦体験コーナーもあります。

### 妊婦歯科健康診査

全額助成

妊娠中の歯科疾病の早期発見、早期治療のため、ぜひ歯科健診を受けましょう。

### 妊産婦訪問

希望される方、必要な方を保健師が訪問し、相談に応じます。

出産

出生届

### 赤ちゃん訪問

乳児がいる家庭を町の保健師が訪問し、相談や情報提供をおこないます。

### ようこそ赤ちゃん 応援・メッセージ



「赤ちゃん訪問」時に、お祝いのメッセージカードと記念品をお渡しします。

## かけがえない宝を守る

無事にお子さんが生まれ、その成長が目に見えて実感できるようになってくると、健康に育っているだろうか、大きな病気にかからないだろうかという心配はつきまとうものです。町では、乳幼児の年齢に応じた乳幼児健康診査を実施しており、その際に保健師や管理栄養士が育児や子どもの発育・発達に関する相談もおこなっています。また、B型肝炎や今年全国的に流行している風しんなど法律に基づいた定期予防接種、おた

妊婦と新生児の健康状態をチェックする健康診査や検査には、さまざまなものがあります。町ではこれらの健診費用の助成を実施しています。妊娠期間の段階によっていくつかの種類の検査を受けることになる妊婦健康診査では、標準的な検査費用などの一部を町で補助しています。妊婦歯科健康診査については、検査にかかる費用の全額を町で助成しています。また、赤ちゃんの聞こえに異常がないかどうかを診断する新生児聴覚検査についても、今年度から検査費用の全額助成をおこなっています。

妊娠から子育てまでのさまざまなニーズに応え、必要なサービスを利用できるように橋渡しの役割を担うこととなります。生まれてくる新しい命は次の世代の主役たちであり、さらに後の世代へと続く歴史の担い手です。子どもたちは、家族にとってはもちろん、町や町民全員にとつての輝かしい宝物。今後も支援体制のいっそうの充実を図り、子育てに臨むお母さんを、全力でサポートしていきます。

ふくかぜやインフルエンザといった任意予防接種の費用も助成しています。子育てに関わる相談事業としては、月1回の育児相談に加えて、今年度から臨床心理士による個別相談「すくすくこども相談」も実施しています。また、生後4カ月までの乳児のいる家庭を訪問する「赤ちゃん訪問」など、各種家庭訪問により悩み相談や子育て支援に対する情報提供もおこなっています。装いも新たになった子育て支援センター「ぱれっと」をはじめ、子育て期のお母さんと子どもをサポートする体制も充実しつつあります。今後、子育て世代包括支援センターの「母子保健コーディネーター」が、

## 1 ■駅前のにぎわい創出を目指して ～駅前町有地商業施設新築工事開始～

JR左沢駅前町有地への出店が決まった商業施設について、10月31日に町と出店者の株式会社ヤマザワ薬品との間で町有地の賃貸借契約が締結され、翌11月1日よりドラッグヤマザワ左沢店（仮称）の新築工事が開始されました。今後、来年春の店舗オープンを目指して工事が進められていくこととなります。

店舗の延床面積は約973㎡、鉄骨造で地上1階建ての建物となります。町が貸与する敷地は町有地の一部で、店舗の南側の県道沿いに来客用駐車場が整備される予定です。

取り扱う商品については、薬品関係や化粧品、日用品、ベビー用品などに加え、食料品も販売する予定となっています。食料品は肉や魚などの生鮮食品以外のもので、牛乳や卵などの日配品のほか、加工食品、酒類なども多く取りそろえる予定です。

駅前町有地については、平成22年10月に町が取得して以降、その利活用方法についてさまざまな検討がなされてきました。町民アンケートの実施による意見集約や左沢駅前町民検討会議での検討結果などを踏まえ、町では商業施設の誘致を目指して民間事業者との交渉や意見交換を重ねてきました。このたびの商業施設の出店により、町民の皆さんにとっての利便性の向上、さらに駅前の新たなにぎわいの創出につながることを期待されます。



▲10月31日に土地賃貸借契約書に署名した渡邊町長と、株式会社ヤマザワ薬品の山澤廣代表取締役社長。この後、現地で店舗新築工事の起工式がおこなわれました



▲左沢駅側から見た商業施設の建設予定地

## 2 ■たくさんの人との関わりを大事に ～地域おこし協力隊員着任～



本町の地域おこし協力隊員として、新たに須藤和さんが着任することになり、11月1日に渡邊町長から委嘱状が手渡されました。

須藤さんは天童市出身で、製菓の専門学校を卒業した後に東京のパン屋に勤務。その後、山形で医療事務に携わっていました。

前職での経験を通して人と接する仕事の面白さを実感したという須藤さんは、もっと多くの人と関われる仕事をしてみたいという思いから、本町の地域おこし協力隊への応募を決めたといいます。

「パン作りなどの経験を生かして、町のにぎわいづくりにチャレンジしたいです」と話す須藤さん。今後、まちなか交流館などでの地域おこし活動に取り組んでいくことになっています。

### 3 ■やがて来る災害に備えて一致協力 ～町総合防災訓練～



▲ A E Dの使用方法を学ぶ応急手当訓練  
◀ 水防訓練で協力して土のうを積み上げる地域の皆さん

防災意識の普及、高揚と、防災関係機関や地域住民の連携強化を図るための大江町総合防災訓練が、10月14日に中央公民館で実施されました。このたびの訓練には、大江町消防団、西村山消防本部などの防災関係機関と、小漆川、みなみ、若原、市の沢、下北山、下モ原、山崎の住民の皆さんが参加。町内で震度6強を記録する地震が発生したとの想定でおこなわれました。

この日は避難誘導、負傷者搬送、初期消火、炊き出しなどの例年の訓練内容に加え、地震の揺れから自分の身を守るための姿勢をとるシェイクアウト訓練、建物火災発生時に引火を防止するためのLPガス応急処置訓練などが新たに組み入れられました。

また、火災防ぎょ訓練では本町の消防団第1分団、自動車分団とともに、西村山広域応援隊として寒河江市、河北町、西川町、朝日町の各消防団が参加。いざというとき、互いに協力して大災害に対処する体制が確認されました。



▲隣接市町の消防団の協力を得ておこなわれた火災防ぎょ訓練  
◀車内に閉じ込められた運転者を、救助工作車で救出する救助訓練。消防本部救助隊により、本物の自動車を用いておこなわれました



### 4 ■万が一の時も慌てず連絡 ～「災害時連絡方法のてびき」贈呈～

日本公衆電話会より「災害時連絡方法のてびき」400部が、10月9日に町へ寄贈されました。この手引は、災害用伝言ダイヤル(171)などの安否確認サービスや、大規模災害後の公衆電話の利用方法などについて分かりやすく掲載した冊子で、町民の皆さんの災害対策に役立てていただこうと贈られたものです。

「災害時連絡方法のてびき」は14日に実施された町総合防災訓練で参加者に配布され、またNTT東日本の協力により災害用伝言ダイヤルの体験コーナーが訓練会場に設けられました。



## 5 ■ 話題のレシピに学ぶ健康のコツ ～健康づくり講演会～

町と町の国民健康保険の主催による「健康づくり講演会」が、10月13日にふれあい会館で開催されました。今回の講師は、株式会社タニタヘルスリンクの管理栄養士・阿部千里さん。健康づくりのために役立つ食事づくりや運動のコツについてのお話をお聞きしました。

また、会場では超音波による骨の健康度測定や歯科衛生士による口腔ケアがおこなわれたほか、食生活改善推進協議会のメニュー試食コーナーも設けられ、多くの方が来場しました。

## 6 ■ 歴史の痕跡をその目で確認 ～史跡左沢楯山城跡現地見学会～

国の史跡である左沢楯山城跡の現地見学会と発掘調査現地説明会が、10月28日に開かれました。左沢楯山城は中世に作られたとされる山城で、城跡を活用するための散策路や展望台、広場などの整備に向け、発掘調査が進められています。

この日は町内外から多くの方が訪れ、講師である山形大学名誉教授・伊藤清郎氏の解説とともに史跡内を巡りました。また、今年度調査を実施している「八幡座」周辺で、見つかった柱穴跡や曲輪の出入口跡などを実際に見学。かつて存在した大規模な山城の跡に、参加者は熱心に見入っていました。



▲全校生徒と出席者による校歌合唱



▲山形交響楽団による記念演奏会

## 7 ■ 先人の足跡を思い次の時代へ ～左沢高校創立70周年記念式典～

左沢高校が設立されてから今年で70年目の節目を迎え、創立70周年記念式典が10月6日にふれあい会館で開催されました。左沢高校は昭和23年に定時制の県立高松高等学校として設置され、昭和27年に左沢高等学校に校名を変更。昭和60年に藤田地区内の現在の校舎に移転しました。平成25年度には総合学科が新たに設けられ、現在は体験学習などを通じて生徒の自主性を育むとともに、地域とのつながりを重視した教育に注力しています。部活動では女子剣道部が数々の全国大会で優勝を果たしたのをはじめ、70年の歴史の中で数多くの生徒たちが輝かしい成績を残してきました。

式典の中で、生徒会長の3年生・川越嗣土さん（6区）は「これまで育まれてきた校風を発展させ、後輩が胸を張って誇れる学校にしていきます」と力強くあいさつしました。

式典後には、山形交響楽団を招いての記念演奏会が開かれ、各時代ごとの代表的な楽曲が演奏されました。最後は参加者一同がフルオーケストラの壮大な音色に合わせて同校の校歌を合唱し、学校の「古希」を祝う日を盛大に締めくくりました。





## 8 ■ひと味違う米のおいしさ ～大江中学校へ給食用米贈呈～

今年度、町教育委員会と大江中学校では米飯給食の開始に合わせ、給食用の米を中学生自身が育てる活動に取り組んできました。5月23日に1年生が田植えをおこなった米は、その後JAさがえ西村山青年部により稲の生育管理と稲刈りが実施され、10月15日から給食用米としての提供が始まりました。

この日、JAさがえ西村山青年部大江支部（支部長：明石晋さん・12区）の皆さんが、収穫した米を生徒たちに贈呈。その後、生徒とともに米作りに関わってできた給食を一緒に味わいました。



様々な分野で活躍され、表彰された町民の方々を紹介します

### 国民健康保険関係功績者 厚生労働大臣表彰

大江町国民健康保険運営協議会委員の五十嵐雄一さんが、永年にわたる国保事業の発展への貢献により、国民健康保険関係功績者として厚生労働大臣から表彰され、10月18日に表彰状が贈呈されました。

五十嵐さんは平成10年4月から現在まで、国民健康保険運営協議会保険医代表委員を20年以上にわたって務められ、国民健康保険事業の運営、向上のために尽力されてきました。

さらにその傍ら、学校歯科医および町立保育園の園医として、児童や園児に虫歯や歯周疾患を予防するための適切な指導を実施されています。町の歯科医としても、歯科検診や口腔ケアの推進、普及のために尽力され、介護・疾病予防にも取り組まれるなど、国保事業のみならず町民の健康づくりに大きく寄与されています。



五十嵐雄一さん（3区）

### 交通安全功労者 山形県交通安全対策協議会会長（山形県知事）表彰

大江町交通安全母の会会長の藤野広美さんが、長年にわたる町の交通安全推進への貢献により、県交通安全対策協議会会長（県知事）より交通安全功労者として表彰されました。

藤野さんは、平成18年度から町の交通安全母の会の理事として各種交通安全活動に従事。平成24年度より副会長、平成29年度からは会長として会をリードしてきました。特に、新入学児童の登下校時の街頭指導や高齢者世帯訪問、高齢者向け交通安全教室などの活動を通じて、交通事故防止の啓発に尽力されています。



藤野 広美さん（6区）



**DANCE!**



**がんばれ!**



**えっほ  
えっほ**



**がんばれ!**



**第15回町民大運動会**

**競技種目**

- ①お猿の駕籠屋リレー
- ②まり入れさせない
- ③カくらべ
- ④浮き輪フィッシング
- ⑤幼児まりひろい
- ⑥宅配便リレー
- ⑦混合リレー



**大会結果**

総合順位

- 第1位：本郷東
- 第2位：三郷
- 第3位：左沢西

応援賞

- 敢闘賞：本郷東
- アイデア賞：三郷
- 努力賞：左沢北

# 平成最後の町民大運動会！ 白熱した勝負の記録！

第15回大江町民大運動会が、10月7日に大江中学校グラウンドで開催されました。今大会では、町内各地域から12チームが参加。さまざまな世代の皆さんが参加できる7つの種目が実施されました。4年に一度の一大行事とあって、各チームとも優勝を目指して熱気に満ちた勝負を展開し、またユニークな趣向を凝らした応援で大会を大いに盛り上げていました。



どっちも



いそぎー！！



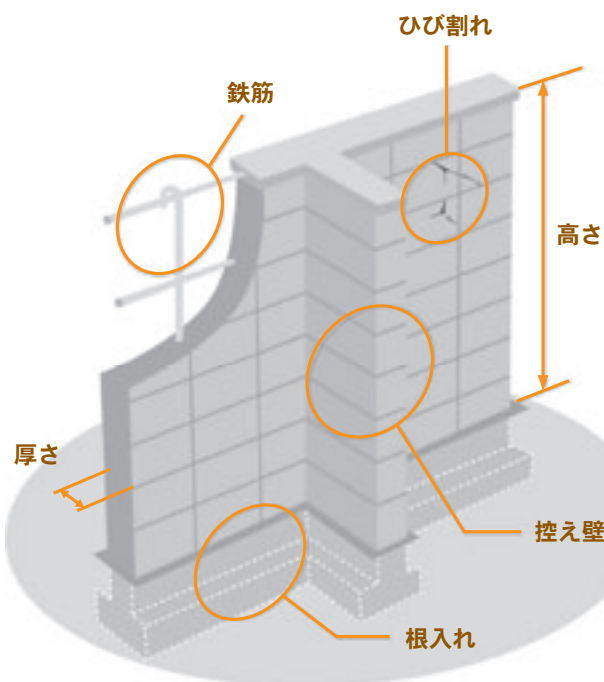
GOAL!!!!

STAR

# 塀の安全点検をお願いします

今年6月に発生した大阪北部を震源とする地震により、塀の倒壊被害があったことについては、記憶に新しいことと思います。これからの季節、塀への降雪により塀の倒壊が起りやすい時期となることから、事故を未然に防止するためにも、町民の皆さんには、所有または管理されている塀について安全確認の実施をお願いします。

## ブロック塀等の点検のチェックポイント



ブロック塀について、以下の項目を点検し、ひとつでも不適合があれば危険なので改善しましょう。

まず外観で1～5をチェックし、ひとつでも不適合がある場合や分からないことがあれば、専門家に相談しましょう。

- 1. 塀は高すぎないか
  - ・塀の高さは地盤から 2.2m 以下か。
- 2. 塀の厚さは十分か
  - ・塀の厚さは 10cm 以上か。(塀の高さが 2m 超 2.2m 以下の場合には 15cm 以上)
- 3. 控え壁はあるか。(塀の高さが 1.2m 超の場合)
  - ・塀の長さ 3.4m 以下ごとに、塀の高さの 1/5 以上突出した控え壁があるか。
- 4. 基礎があるか
  - ・コンクリートの基礎があるか。
- 5. 塀は健全か
  - ・塀に傾き、ひび割れはないか。

組積造(れんが造、石造、鉄筋のないブロック造)の塀の場合

- 1. 塀の高さは地盤から 1.2m 以下か。
- 2. 塀の厚さは十分か。
- 3. 塀の長さ 4m 以下ごとに、塀の厚さの 1.5 倍以上突出した控え壁があるか。
- 4. 基礎があるか。
- 5. 塀に傾き、ひび割れはないか。

<専門家に相談しましょう>

- 6. 塀に鉄筋が入っているか
  - ・塀の中に直径 9mm 以上の鉄筋が、縦横とも 80cm 間隔以下で配筋されており、縦筋は壁頂部および基礎の横筋に、横筋は縦筋にそれぞれかぎ掛けされているか。
  - ・基礎の根入れ深さは 30cm 以上か。(塀の高さが 1.2m 超の場合)

<専門家に相談しましょう>

- 6. 基礎の根入れ深さは 20cm 以上か。

出典：パンフレット「地震からわが家を守ろう」日本建築防災協会 2013.1 より一部改

○安全点検を実施した結果、危険性が確認された場合は、通行人などに被害を与えないよう、注意喚起の張り紙などの表示をおこないましょう。

○危険性が確認された塀については、専門家や専門業者などに相談し、補修や撤去工事の検討をお願いします。  
※専門家への相談については次の建築士関係団体などへ、建築基準に関することについては、県担当課へお問い合わせください。



お問い合わせ内容	お問い合わせ先	電話番号	住所
専門家への相談	一般社団法人山形県建築士会	☎ 0 2 3 (6 4 3) 4 5 6 8	山形市城北町 1-12-26
	一般社団法人山形県建築士事務所協会	☎ 0 2 3 (6 1 5) 4 7 3 9	山形市松波 4-1-15
建築基準に関すること	村山総合支庁建築部建築課	☎ 0 2 3 (6 5 4) 1 1 1 1 (内線 4 1 7)	山形市鉄砲町 2-19-68

○倒壊被害が懸念される門柱などの工作物についても、安全確認をお願いします。

☎ 建設水道課管理係 ☎ (6 2) 2 1 1 6

# 3歳児 Smile Photo

スマイル フォト



ささきやまと 佐竹大和くん  
9区



ささきそうま 佐竹颯馬くん  
美郷



いとうりさ 伊藤莉彩ちゃん  
小見



いとうあおい 伊藤茉愛ちゃん  
小見



おおいりょうせい 大泉翔聖くん  
13区



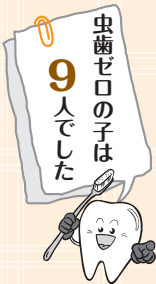
むらやまあと 村山彩翔くん  
藤田



ほりちか 堀千咲貴ちゃん  
藤田

10月5日に3歳児健診を受けた元気なちびっ子たちを紹介いたします！（順不同）

健康福祉課保健衛生係  
☎(62)2114



なかがわ こと 中川 琴ちゃん  
藤田



くどうしょうま 工藤彰真くん  
荻野



せい の こ は 清野 琴葉ちゃん  
梨木原



かとう けん 加藤 権くん  
美郷



ごとう ゆ か 後藤 柚菜ちゃん  
1区

## 善意いただきました



J A さがえ西村山および全国共済農業協同組合連合会山形県本部より、10月4日に町へ4基のカーブミラーを寄贈していただきました。カーブミラーは各地区からの要望を踏まえて町内各所に設置し、安全性の向上のために活用させていただきます。

## 【お詫びと訂正】

「広報おおえ」10月号に掲載しました平成29年度決算報告の中で、水道事業会計（歳出）の決算金額および注釈に誤りがありました。下記のとおり、お詫びして訂正いたします。

### 水道事業会計

<b>歳入（総額）</b>	<b>2億9,181万円</b>
収益的収入	2億3,529万円
資本的収入	5,652万円
<b>歳出（総額）</b>	<b>3億5,404万円</b>
収益的支出	2億3,480万円
資本的支出	1億1,924万円

※資本的収支の不足額については、当年度消費税資本的収支調整額、過年度損益勘定留保資金、当年度損益勘定留保資金で補てん



## 10/5 しっかりチェックでおいしい果実を

「安全・安心『ラ・フランス』現地交流会」が、10月5日に小漆川地内で開かれました。この交流会は、地元で採れた農産物の安全性を広く知ってもらうとともに、消費者と生産者の交流を深めるために、西村山地域1市4町とJAさがえ西村山などにより実施されているものです。

この日は消費者代表として、町の食生活改善推進協議会員と大江幼稚園の児童たちが参加。安全性検査のためのサンプル採取としてラ・フランスのもぎ取りを体験し、安全が確認された果実を生産者と一緒に味わっていました。



## 10/8 時代を象徴するクルマが集結

往年の名車の数々が集まる「クラシックカー&古い街並inおおえ2018」が、10月8日に左沢原町・横町・内町通りで開催されました。このイベントは、国の重要文化的景観に指定されたレトロな街並に、クラシックカーが一堂に会する催しとして人気を誇り、今回も町内外から愛好家の自慢の自動車72台、バイク8台が集合しました。

この日は、国内でも珍しいといわれる昭和14年製造の「オースチン8」など貴重な車も登場するとあって、会場には大勢の人々が詰めかけ、時代を感じさせる車体に見入っていました。



## 10/10 地元生まれの甘美なすもも

JAさがえ西村山すもも部会（部会長：渡辺誠一さん・塩野平）から給食用のすももが10月10日に町内の小中学校に贈呈され、本郷東小学校で贈呈式がおこなわれました。同部会では地元産のすももを地域の子供たちに味わってもらおうと、昨年からは給食用にすももを提供しています。

今回贈られたのは、渡辺さんが中心となって開発した新品種のすもも「ラブリー愛季」約600個。贈呈式で本郷東小学校児童代表にすももが手渡され、児童たちは地元で生まれたすもものおいしさを味わっていました。



## 10/12 大きくなって帰ってきてね

サクラマスの幼魚の放流が、10月12日に沢口地内の巻淵付近の月布川でおこなわれました。本町では、サクラマスの遡上数増加と子どもたちの自然への理解を深めることを目的として、平成5年から町内の小学生による幼魚の放流が毎年実施されています。

今年は左沢小学校4年生の児童35人が、約7千匹の幼魚を月布川に放流。参加した磐田祥一郎くん（小漆川）は「サクラマスは元気がかわいい魚だと思いました。大きくなって月布川に戻ってきてほしいです」と話していました。



## 10/13 自然の恵みを活性化の力に

地域資源を活用した地域活性化・地域再生の事例を集めたドキュメンタリー映画「おだやかな革命」の上映会が、10月13日に沢口克雪センターで開催されました。

この上映会は、大江町光林会と東北芸術工科大学建築・環境デザイン学科三浦秀一教授により、地元の地域資源の重要性を見つめ直す機会にしようと企画されたものです。本町でも西山杉などの豊富な地域資源を保有していることもあって、参加した地域の皆さんは真剣な眼差しで映画を鑑賞していました。



## 10/14 最上の川の幸を存分に堪能

最上川の天然アユを味わえる「観光やなあゆ祭り」が、10月14日にテルメ柏陵健康温泉館でおこなわれました。観光やなでは、産卵のために川を下ってきた「落ちアユ」の漁獲量が秋にピークを迎えることから、毎年この時期に鮎まつりを開いて多くの人にアユ料理を提供しています。

会場となった広場では、観光やなで採れた天然アユの塩焼をはじめ、アユめし、いもこ汁などが販売されました。この日は町内外からたくさんの方が訪れ、この時期特有の身の締まったアユの食感と、町の秋の味覚を堪能していました。



## 10/21 お化けもヒーローも大集合！

おおえ国際交流協会による「おおえのハロウィンパーティー2018」が、10月21日に中央公民館で開かれました。このパーティーは、西欧の風習であるハロウィンにちなんで、子どもたちに仮装とゲームを楽しみながら海外文化に触れてもらおうと、平成23年からおこなわれています。

この日は70人以上がお化けなどのキャラクターに仮装して参加。県国際交流員のエリカ・テルフォードさん、ALTのデニス先生と一緒にさまざまなゲームを楽しみ、「トリックオアトリート」の合言葉でお菓子をもらっていました。



## 10/28 旬の味覚と地域の文化を満喫

地元の秋の味覚が勢ぞろいする小倉交流館収穫感謝祭が、10月28日に開催されました。今年は天候不順が野菜や果樹の生育に影響を及ぼしましたが、この日は本郷西地区で収穫されたリンゴ、白菜、ねぎ、山芋など選りすぐりの農産物が販売され、朝から大勢の方が会場を訪れました。

また、この日は本郷西地区の文化祭として、地元の方々による絵画や文芸、模型などの作品が館内に展示されました。会場内では餅やきのご汁などの販売もおこなわれたほか、楽しい抽選会も催され、大いににぎわっていました。

# 町長 コラム Column

九州の平戸市を訪ねた。来年、大江町での「重要文化的景観の町全国大会」が予定され、連絡や挨拶のために出席の要請があったためだ。大江町は全国で37、東北で3、山形では初めての重要文化的景観の町の認定であったが、今では長井市も含めて61の市町村に増えている。今年中にも数カ所申請されているという。仲間の町が増えて、同じ目的に向かって進むのは気分がいいし力も出る。孤独な作業中に仲間を発見すると、勇気をもたって頑張れるのは確かだからだ。

9時に出発して、仙台の飛行場まで2時間弱、福岡空港まで2時間のフライト、博多駅に出て在来特急2時間の乗車で佐世保、佐世保から2時間弱の松浦鉄道の旅、朝から夕方までの長い移動は久しぶりであった。「せまい日本、そんなに急いでどこに行く」どころか、日本は広くて大きいと実感した。汽車の中で——山形から北海道の札幌まで一昼夜の長旅を若いころ幾度もやったが九州熊本からの同級生はどれほどの時間をかけていたのだろうか、飛行機もなかったのに……—、と思いを巡らせながら、自分を他人に置き換えての「比較と同情の相関」を無理やり考えて時間を稼いだ。北は北海道から南は沖縄まで、自分の「立ち位置」をどこに置くか、どこからか、どこへか、近いのか、遠いのか、「惚れて通えば千里も近し」と言うのではないか……東京が中心ではない……。

山には山の、町には町の、川にも海にも、人々の生活があった、九州平戸の旅館の女将さんは「今日はあゝ風、あゝ日和」だと言った、飛び魚が岸によってくる風、飛び魚を干すのに都合の良い天気のことかもしれない。来年全国のさまざまな「文化と日和」を背負った方々が大江町にやって来る、喜びや憂い、楽しさや悲しみを日和に委ねて。10月22日5時46分、窓から見える空は灰色だが、霧か雲かは外に出なければ分からない、山には赤み。

大江町長 渡邊 兵吾

## 地域おこし協力隊通信

No.48



10月に入ってからめっきり寒くなりましたね。皆さんは風邪などひいていないでしょうか。僕はひきました。

それはさておき、スポーツから読書、果ては食欲まで。広すぎる懐を持つ季節がやってきました。さまざまなイベントであふれ、取材のために奔走する今日このごろ。しかも今年は4年に一度の町民大運動会がありましたから、気合が入りました。個人的には私自身も事務局に加わっている「シェイク・ラボ」夏の続編企画「ハロウィンカイドン」があったことも印象に残っています。秋という季節は、来る停滞の冬に向けてどんどん活動的になる時期なのかもしれません。

11月には文化祭や物産味覚まつりなど大きなイベントがまだまだあるので、今から楽しみです！

地域おこし協力隊 坂口祥太



↑クラシックカーや運動会などたくさんのイベントがありました！

### ● 短歌 ●

ダリヤ園多彩の花に客を呼び風に吹かれて秋の夕暮

松田 皞

故郷の子産岩屋おほめいわやや子洗い沢は杉の林の中となりけり

佐竹磨砂湖

帰る子にむすびたくさん持たせたり新米届くその翌朝に

山家 重之

千切れ雲湧きまた虹も立つ雨にわれ畑に出る秋晴はいつ

菊地つねよ

神無月夜半裏返し葛の葉は明け四ツ時に晒されて見ゆ

佐竹 與鼓

誰が言ひしおもしろき名の菊の花もつてのほかは秋空に映ゆ

斎藤 徳治

### ● 俳句 ●

秋茄子を取り入れするも奥難儀 鴨田富士夫

カタンゴトン列車一輛秋日和 阿部 一風

秋深き急流に入る水の声 松田 皞

あたたかき夕餉となりし栗の飯 山家 重之

一人居の仏間のほこり秋刀魚食ふ 熊谷 勉

町流るメロディ釣瓶落しかな 舟山 三男

叩かれて気がつく男子木の実降る 伊藤 啓泉

## 吟遊浪漫

ぎんゆうろまん

※このコーナーに掲載ご希望の方は、毎月20日(必着)まで役場総務課に作品をお寄せください。





小さいころから絵を描くのが大好きだったという林さんは、仕事をしながら絵を描き続ける道を選び、高校では福祉関係の学科を選択。その後、特別養護老人ホームに勤務して施設利用者の生活介助を担当し、今年で5年目となります。

「利用者の方に似顔絵を描いてプレゼントすると、とても喜んでもらえます。介護の仕事をしてながらも、自分の好きなことを生かしてできることがあるんだなあと思って、今とても充実しています」

絵が上達していったきっかけは、幼稚園のころにありました。絵の上手な友達に負けないようにと一生懸命練習するようになり、やがて絵を描くことそのものに夢中になっていったようです。

これからも、大好きな絵を描き続けていきたいと話す林さん。

「介護の仕事は大きな責任を伴うので、もっと知識を身に付けて、たくさんの方が笑顔で過ごせるようにがんばりたいです。そして将来、その経験が絵を描くうえで生きれば良いなと思っています」

林 和希さん  
(23歳・諏訪原)

笑顔のために絵筆を握り続ける

シリーズ企画

月刊

仲間とエンジョイ!

No.21

町内でスポーツや文化活動などを楽しんでいる皆さんをご紹介します。

### 大江パークゴルフ愛好会

会長：箱崎正勝 さん (12 区)

北海道発祥のゴルフ風スポーツであるパークゴルフに親しもうと、平成27年に設立されたのが「大江パークゴルフ愛好会(愛称:OPG)」です。現在の会員数は31人。月例会などを開き、会員の親睦と健康増進を図っています。

絶好の秋晴れとなった10月14日、「第1回大江町長杯パークゴルフ大会」が大山自然公園芝生広場の朝日眺望コースで開催され、14組54人が参加しました。「町の後押しも頂きながら会を立ち上げることができました。パークゴルフは芝生を歩きながら気軽に健康的に楽しめるスポーツです。一緒に楽しむ仲間も募集しています」と、箱崎会長は話していました。



▲大江パークゴルフ愛好会の皆さん



▲ナイスショットが飛び交った大江町長杯パークゴルフ大会の様子

# お知らせ

## Information

### 健康診査(ミニドック)のご案内

町で実施している今年度分の健康診査は、12月3日(月)のミニドックで最後となります。健診を申し込んでまだ受診していない方は、健康管理のためにぜひ受診してください。

◆健診名/ミニドック(総合健診)

◆日時/12月3日(月) ※1時間程度

◆会場/保健センター

◆受付時間/8時~8時半

◆申込方法/11月21日(水)まで電話

で申込(後日問診票などを送付します) ※すでにミニドックの日程変更の連絡をされている方は、送付済みの問診票をお使いください。

※会場・時間の変更されましたので、お間違いないようにお願いします。

問 健康福祉課保健衛生係

☎(62)2114

### 「夜間健康相談」のご案内

健診結果をもとに、食事や運動などについて保健師・管理栄養士が個

## 高齢者世帯 などの 雪下ろし・ 玄関除雪支援 について



高齢者や障害者の冬期間の暮らしを守るため、雪下ろしや玄関除雪の支援をおこないます。

◆対象世帯/次の全てに該当する世帯 ①町民で現に居住している、②町民税(所得割)非課税、③高齢者や障害者のみ、または自力で雪下ろしなどができない、④子や親戚などから雪下ろしなどの支援(経済的支援を含む)を受けられない

◆支援内容/住宅の雪下ろし、それに伴う住宅周辺の除排雪、除雪車通過後の玄関の除排雪作業に要した費用の一部を支援

◆支援額/対象経費の9割

※雪下ろしの対象経費は1回25,000円が上限で、3回分までが対象です。

※玄関除雪の対象経費は回数の制限はありませんが、一冬を通して24,000円が上限です。

◆留意事項/①店舗、農作業小屋、倉庫、車庫、他人に貸している住居は支援対象になりませんが、②雪下ろしなどの依頼は、必要な時期に直接事業者などに依頼してください、③できる限り、子や親戚などの方のご協力をお願いします

◆利用申請/申請書を11月19日(月)までに地域の担当民生児童委員にお届けいただくか、11月22日(木)までに健康福祉課へ提出

※申請書は地域の民生児童委員および役場健康福祉課で準備しています。

問 健康福祉課福祉係 ☎(62)2285

別にアドバイスをおこないます。今回は夜間の開催となります。

高精度ポータブル体成分分析装置

「インボディ」で、体幹・両手足ごとの脂肪量や筋肉量、身体年齢などを簡単に測定することもできます。申込は不要ですので、ぜひご参加ください。

◆日時/11月15日(木)18時~19時半

受付

◆会場/中央公民館 多目的ルーム

問 健康福祉課保健衛生係

☎(62)2114

### 平成31年分収入保険の加入申請が まもなく締め切られます

現代の農業経営は、自然災害だけでなく多くのリスクにさらされています。収入保険は、すべての農産物の販売収入を補償する今までの新しい保険です。加入申請は11月30日(金)までとなっていますので、加入を検討されている方は、お早めの手続きをお願いします。

問 山形県農業共済組合本所収入保険推進課 ☎023(665)4700

### 住生活総合調査にご協力ください

12月1日(土)、全国で住生活総合調査がおこなわれます。この調査は、住生活の安定・向上に係る総合的な施策を推進する上で必要となる基礎資料を得ることを目的としています。

今回は、10月に実施された住宅・土地統計調査に回答いただいた世帯の中から一部を選び、全国で約12万世帯を対象におこないます。11月下旬からポストインングにより調査票を

## 除雪ドーザを売却します



- ◆売却車両/除雪ドーザ8t級
  - ◆車名/川崎重工業製 50zⅢ形(バケット付)
  - ◆参加申込期間/11月8日(木)~26日(月)  
※物件確認は事前予約制としますので、農林課までご連絡ください。
  - ◆申込方法/譲受希望価格書(農林課、町ホームページで配布)に希望価格などを記入し提出  
※複数の譲受希望者がいる場合は、30日(金)までに最高価格提示者のみにご連絡します。  
※提出に際して必要事項を記入・押印後、本人確認ができる公的機関発行の証(運転免許証・保険証・パスポートなど、参加者が法人の場合は、商業登記簿謄本)の写し(裏面もある場合は両面)を添付のうえ、町に送付してください。
  - ◆引き渡し/売買代金納付確認後、車両を引き渡します  
※物件引渡確認書に押印していただきますので、認印をご持参ください。  
※車両引き渡し後、12月14日(金)までに名義変更し、名義変更後の車検証の写しを農林課まで提出してください。  
※引き渡しに係る一切の費用は、落札者の負担となります。現状引き渡しになります。  
※この車両で国県市町村道の除雪業務をおこなうことはできません。  
※車両の運転時間などの詳細については、町ホームページをご覧ください。
- ☎農林課事業係 ☎(62)2115

## 「犯罪被害者県民のついで」 2018「のお知らせ」

社会全体で犯罪被害者などの支援が推進されることを目的に開催され

配布し、郵送・オンラインで回収します。ご協力をお願いします。  
☎ 住生活総合調査事務局  
☎ 0120(467)060  
(フリーダイヤル)

または、国土交通省住宅局

☎ 03(5253)8111  
(内線39235)

入場無料で、どなたでも参加できます。

◆日時/11月27日(火)13時半~15時  
45分(開場13時)

◆会場/山形ビッグウイング(山形市平久保)

◆内容/第1部・オープニング、第2部・命の大切さを学ぶ教室作文コンクール発表、第3部・基調講演(講師・全国犯罪被害者の会「あすの会」元代表・岡村勲弁護士)

☎ 公益社団法人やまがた被害者支援センター ☎ 023(642)3571

## 大江町メール配信サービスをご利用ください!

電子メールで行政情報などを提供するサービスです。無料で登録することができます。

### ◆配信内容/

- ①生活情報…町のお知らせ、福祉、子育て、生涯学習など
- ②観光・イベント情報…観光、イベント、スポーツイベントなど
- ③防災情報…防犯、防災など

ココから登録! ↓



## 編集 後記

今月4日、町の文化祭のステージの一部では、多くの音楽団体が演奏を披露しました。お聴きになった皆さんは、それぞれの歌声や楽器の音からどんな「色」をイメージされたでしょうか。

(伊藤智治)

今月の表紙写真は、久しぶりに開催された大江町長杯囲碁大会。囲碁といえば、碁石。碁石といえば、白と黒。白と黒といえば…皆さんは何を思い浮かべるでしょうか。  
例えば、ピアノの鍵盤。現在のピアノは、いわゆる「ドレミファソラシド」の音を出す鍵盤が白、その間にあるシャープやフラットの鍵盤が黒になっています。ところがモーツァルトなどが活躍した時代には、鍵盤の白黒の配色が現在とは逆だったようなのです。色が変わった理由については諸説あるそうですが、白黒がすっかり逆転してしまうという面白い話です。  
他に音楽に関するもので白黒のものといえば、楽譜。五線譜の上に音符が書き込まれた譜面は、時代が変わっても白黒のまま変わっていません。オーケストラの演奏者の服装も、多くの場合はスーツなどの白黒の衣装で統一されています。それでは、「音」自体はどうでしょうか。音は、空気の振動による波を感じ取ることで聞くことができます。これに対して「色」は、光の持つ波の性質を感じることによって表れてくる感覚です。音も色も同じく「波」が生み出すものだと考えれば、音の特徴を表す際に「音色」という言葉が使われるのもうなずけます。  
今月4日、町の文化祭のステージの一部では、多くの音楽団体が演奏を披露しました。お聴きになった皆さんは、それぞれの歌声や楽器の音からどんな「色」をイメージされたでしょうか。

# 思い出の まいぞうひん My 蔵品

No.37

皆さんの心に残る思い出の品を、それにまつわるエピソードとともにご紹介します。



▲昭和32年に伊藤さんが購入したキヤノンP型カメラ



▲今でも遠くへ出掛けるときはカメラを携えていくという伊藤さん



▲家族との数々の思い出を収めたアルバム

昔から写真を撮るのが好きだったのですが、若いころはカメラなどなかなか買えるものではなかったので、よく知人からカメラを借りて撮っていました。やっと本格的なカメラを買うことができたのが昭和32年のことです。結婚、息子の誕生と成長、家族での旅行など、このカメラでいろいろな場面をフィルムに収めてきました。また、山歩きが好きだったので、よくカメラを持って東北各地の山に出掛けていったものです。

その後も、キヤノンやニコンをはじめ、さまざまなメーカーのカメラを購入しました。8mmカメラも3台持っていましたが、今では1台しか残っていません。

家族との写真を収めたアルバムは、今も大切にとってあります。ページをめくっていると、いろいろなことが思い出されてきます。

(8区 伊藤宗三)

★皆さんの思い出の詰まった「宝物」はありませんか？ 懐かしい写真、長年愛用している道具、旅先で購入した記念の品など、なんでも結構です。総務課情報システム係 ☎(62) 2187まで、ぜひお知らせください。

## 戸籍のまど

9月21日～10月20日受付分

### お誕生おめでとう

区名	氏名	性別	父母名
12区	菅野 亘陽 <small>あさひ</small>	男	雄平・和
藤田	中瀬 朝陽 <small>あさひ</small>	男	達也・綾菜

### ご結婚おめでとう

区名・出身地名	氏名
(柳川平	石坂 康平
(柳川平	遠藤 千秋

### ご冥福を祈ります

区名	氏名	年齢
月が丘	鈴木おとよ	(90)
葛沢	林 秀	(83)
山崎	富樫 タケ	(83)
深沢	鈴木 孝雄	(86)
藤田	齋藤いちの	(94)
木の沢	梅津 末治	(89)
藤田	鈴木ハチヲ	(94)



### 人口と世帯(前月比)

町の人口	8,240人(-12)
男	4,098人(-6)
女	4,142人(-6)
世帯数	2,923戸(-5)

平成30年11月1日現在

※掲載を希望しない場合は、届け出の際にお申し出ください。